

第5学年1組 総合的な学習の時間指導案

平成27年11月26日(木) 2校時

授業者 教諭 石井 妙子

場所 5年1組教室

1 本研究の提案

- (1) 白菜を栽培したり野菜を販売したりする共通体験をし、食材を育てる大変さを実感したり、野菜を販売する方の思いに触れたりする。また、白菜について生産者・販売者・消費者の立場から調べその立場になって考え話し合うことにより、生産者や食材を守っていく大切さに気づく。

2 本研究の授業技術課題

- (1) 主体的に学習に取り組ませるために単元構成を工夫する。  
 (2) 話し合う観点を明確にし、話し合う手だてを工夫する。

3 本研究で取り入れた言語活動

- (1) 白菜について、生産者・販売者・消費者の立場を考えながら話し合うことにより、食材に関わる人々のつながりに気づき、自分なりの考えを話す。  
 (2) 友だちと話し合うことにより、互いの考えの類似点や相違点に気付く。

4 大単元「食いしんぼう、ばんざい ～命のつながりみつめよう～」

小単元「白菜に関わる人のつながりについて考えよう」

5 単元の目標

白菜を栽培したり野菜を販売したりする共通体験や、白菜について生産者・販売者・消費者の立場から調べたそれぞれの立場になって考え話し合うことにより、生産者や食材を守っていく大切さに気付く。

6 指導計画 小単元「白菜に関わる人のつながりについて考えよう」(本時 22/25)

段階	時数	
1	2	白菜を栽培する。(種まき・苗植えなど)
2	7	仙台白菜の歴史を知り、採取場で苗植え体験をする。
3	7	白菜の生産者(栽培方法)・販売者・消費者の立場から白菜について調べ、調べたことを伝え合う。
4	1	生産者の方の話を聞く。(仕事の内容・気をつけていること・嬉しいこと)
5	2	販売者の方の話を聞き、販売体験をする。
5	6 (本時 4/6)	調べたことや生産者の方から聞いたことを整理したり、それぞれの立場になって考えたり話し合ったりすることにより、生産者や食材を守っていく大切さに気付く。

7 本時の展開

(1) ねらい

白菜の値段について、生産者・販売者・消費者の立場になって考えたり話し合ったりすることにより、生産者や食材を守っていく大切さに気付く。

(2) 指導過程

	活動内容	予想される児童の反応 ◎支援 ◇ 評価

導入	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">白菜の値段について考えよう。</div> <p>2 自分のつけた値段と友達がつけた値段を考え合わせて、値段について話し合う。</p> <p>(1) 自分達が栽培した白菜をいくらで売りたいと考えたか発表する。</p> <p>(2) 友達のつけた値段について、自分のつけた値段や考えと比べながら、意見を発表する。</p>	<p>◎高値・実際の価格に近い・安値の児童に、値段をつけた理由を発表させる。</p> <p>◎友達のつけた値段について思ったことを、発表する。</p>
展開	<p>3 調べたグループに分かれ、調べた立場から値段について考え意見を発表する。</p> <p>(1) 白菜担当チームに分かれ、生産者・販売者・消費者の立場になって、白菜の希望価格または、適正だと思う価格について話し合い、価格を発表する。</p> <p>(2)他のグループの希望価格について、自分たちのつけた値段や考えと比べながら、意見を発表する。</p> <p>4 生産者の方の値段に関するインタビューを視聴して、白菜の実際の値段を知り、これまでの話し合いや、生産者の方の話を聞いて、白菜の価格について自分なりの考えをまとめる。</p> <p>(1) 白菜の値段はどのように決めればよいと思うか、自分の考えをワークシートに記入し、発表する。</p>	<p>◎担当した自分の立場から、白菜の値段について考える。</p> <p>◎生産者は必要経費、販売者は食品市場資料や販売者の講話、消費者は家庭でのインタビューなど、値段をつけた根拠も話す。</p> <p>◎他のグループがつけた値段について思ったことを発表する。</p> <p>◎生産者の実情を知る。</p> <p>◎価格のつけ方について考えを書き、具体的な価格を書かなくてもよいことを伝える。</p> <p>◇いろいろな立場を考えて白菜の値段を考えることにより、生産者や食材を守る大切さに気付くことができたか。</p>
まとめ	5 次時以降の予告をする。	◎自分にできることを考える。

(3) 板書計画

白菜の値段について考えよう	すくすくグループ	白菜を買わせるグループ
各自の希望価格	八百菜	もぐもぐぱくぱくグループ
全員分の値段を書いたカード	白緑グループ	

(4) 本時の評価

評価規準	いろいろな立場を考えて白菜の値段を考えることにより、生産者や食材を守る大切さに気付いた。
Aと判断する姿	白菜につけた値段を、説得力のある説明をして発表したり、ちがう立場の考えを取り入れながら自分の考えを発表したりした。
Cへの手だて	黒板に掲示してある値段カードを参考に、自分の考えをまとめさせる。

※ 値段を記入する用紙は、生産者（緑）・販売者（黄）・消費者（桃）の色を使用する。